

学 校 名	あきる野市立一の谷小学校
コーディネーター数	1人
ボランティア数	48人

## □ 活動の概要

## 1. 「地域子供見守り隊」による学校支援

児童の登下校時における交通安全・不審者対応の見守りをを行っている。30人ほどで年間190日程度実施。また、放課後並びに緊急時の不審者対応にも、学校と連携し、見守りを実施している。

## 2. 「学校整備事業」の実施

今年度は、8月の夏休み終了時と11月と2回学校整備事業を実施。校庭の草刈り、樹木の剪定・手入れを行った。11月には、落ち葉拾いや伐木の除去を行い、枯れ葉、枯れ枝のない、校庭環境の整備を行った。

## 3. 「ほたる育成支援事業」

学校敷地内の「ほたるの里」の維持管理と3年生児童へのほたるの飼育指導を実施。青少健とPTAとの共催による「ほたる祭り」の企画・準備・運営にも当たり地域・環境への児童の関心を高めた。

## 4. 「稲作支援事業」

地元農家の支援のもと、第5学年児童の田起こしから田植え・稲刈り・脱穀・餅つき大会まで、稲作の一連の活動を指導・支援する。

## 5. 「学習支援活動」

○夏休み図書の貸し出しボランティア活動を支援。学校公開と連携し児童の昔遊びの会の運営を支援する。



## □ コーディネーターの役割

地域教育協議会の準備・運営を中心に、「子供見守り隊」の呼びかけ人である。地域からボランティアを募集し、約30人のメンバーで活動した。

学校から提出される下校時刻一覧表のもと、月ごとに人員配置し時間調整をする。自らも安全パトロールを行った。

このほか、学校と連携し、学校整備事業、ほたる育成事業、稲作事業のボランティアを確保している。また、学校・PTA・青少健などの連携の窓口及び調整役となり円滑な運営に寄与している。



## □ 活動上の工夫や配慮等

1. 組織運営に目を配り、「負担を感じず、楽しくできる学校支援」を目標に活動。年2回親睦を兼ねたボランティア意見交流会を実施している。
2. PTA・青少健・地域自治体との連絡調整を行い、各種団体との連携をコーディネートしている。

## □ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

## 1. 「地域子供見守り隊」による学校支援

見守りに対する児童からのお礼の会の実施。学校評価の保護者アンケートに「見守り隊」への感謝の言葉。児童の交通事故も地域内の不審者の出没もない。児童・保護者・地域からの信頼も篤い。活動が認められ、以前、東京都から表彰を受けた。

## 2. 「学校整備事業」の実施

地域の方々やPTAを中心に2回実施。保護者・地域・児童及び教職員含め、延べ250名程の参加があった。

## 3. 「ほたる育成支援事業」

3年生が「ほたるの里」に幼虫を放流。羽化に伴い「ほたる祭り」を開催。晴天に恵まれ、学区内外の地域からも多くの住民が参加。中学生のボランティアや地域の獅子舞保存会、お囃子保存会、高等学校、大学等も参加。地域のお年寄りを含めた「地域まつり」の一大事業になっている。

## 4. 「稲作支援事業」

11月25日（土）には、PTAによる準備や多くの方の協力で「餅つき」を実施し、収穫を祝った。収穫した餅米は、見守り隊を中心に、コーディネーターと学校管理職とでお礼を兼ねて自宅を訪問し配布する。

## 5. 「学習支援活動」

夏休み図書の貸し出しボランティアも毎日支援をいただき、多くの児童が本を借りることができた。児童の昔遊びの会では、お年寄りを中心に昔遊びや昔ながらの作法や習慣を教えていただいた。



**あきる野市**

学 校 名	あきる野市立屋城小学校
コーディネーター数	1名
ボランティア数	24名

□ 活動の概要

屋城小学校を活動の拠点にする既存の各ボランティア団体の活動を充実させると共に、各団体との連携を強化して、屋城小学校の教育、環境、安全性向上を図る活動を支援する。

平成29年度の主な事業。

○図書ボランティア活動 = 登録会員数：16名

\*朝読み聞かせ = 全学年 月1回程度。

\*読み聞かせのスペシャル会の実施 = 全学年 学期1回程度。

\*本の修理 \*図書室の整備 \*図書関係掲示物の作成及び掲示 \*季節毎の図書室模様替え等々時間をかけて意欲的に活動。

○防犯サポート活動 = 登録会員数：10名

\*登下校時の見守り ※出来る人が出来る時に出来る所で出来るだけ。無理のない活動を…

\*情報交換 = 学校（正副校長）、サポート、CSガードリーダー、駐在所警官での情報交換、情報の共有化、対応 1回/月 8:40~9:10

○支援事業 = 登録会員数：(事業内容により適任者に協力要請)

\*校門通路脇プランター花壇花植え、日常管理 = プランター花壇15ヶ

\*通学路歩行帯の白線補修依頼⇒完成

\*校内立て看板の整備 = 作成、取り換え 7か所



\*運動会時の児童席用テント設営 = 10張

準備：トラックレンタル手配、各町内会、自治会よりテント借用（7団体）

設営：当日保護者と共にテント設営、撤去

撤収：各町内会、自治会倉庫にテント返却（7団体）

□ コーディネーターの役割

\*各ボランティア活動の活発な活動展開促進

\*活動の計画、各団体との調整、実行の促進、全般

\*学校、学童、地域とのコミュニケーション

□ 活動上の工夫や配慮等

自己反省点として、…今日迄数年間、学校と共に地域、保護者、児童の祖父母の皆さんに学校支援ボランティア活動協力依頼を間接的又は直接的に重ねて来たが結果は寂しいものであった。H17年より児童見守り活動を、その後学校支援事業についてもリーダーの立場で取り組み来たがここでリーダーを下り次期リーダーの元で活性化を図ってほしいと願っている。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童、生徒、地域活動、学校等の声や反応など）

図書ボランティア活動は保護者にて活動しており積極的に展開している。半面防犯、支援事業は新しく協力してくれる人材が少なく高齢化している。早急、真剣な対応の必要性を痛感する。

効果＝児童犯罪被害：0件 交通事故：0件 無形効果：児童との交流出来、挨拶向上

**あきる野市**

学 校 名	あきる野市立前田小学校
コーディネーター数	4人
ボランティア数	50人

□ 活動の概要

- 1 学校環境整備活動  
40周年記念事業「緑の小径」の延長  
体育館舞台上の演台補修
- 2 米作りボランティア  
5年生が学校代表として取り組む米作りの、代掻き・田植え・かかしづくり・稲刈り・脱穀・もちつきなどの活動支援
- 3 「子どもの安全を守り隊」による登下校の見守り  
児童の登下校の見守り  
15名で年間200日程度の見守り活動
- 4 図書読み聞かせボランティア  
年間3回の読書旬間での読み聞かせや特別イベントの開催  
各クラスでの読み聞かせ活動
- 5 学校行事への支援  
運動会での児童用テント張りや安全の見回り



校舎まで約40m延長された  
「緑の小径」



注文発注したように補修された演台

□ コーディネーターの役割

活動内容ごとの計画立案、実施  
PTA・青少健・各ボランティアとの活動調整、

□ 活動上の工夫や配慮等

PTA・青少健・地域各団体と、活動時期や時間、場所などを配慮しながら調整している。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

- 1 学校環境整備活動  
昨年度、この事業で改修していただいた緑の小径を、今年度はさらに創立40周年記念事業として、新たに校舎まで約40m延長する工事を行っていただいた。登下校の際に通る西門から校舎までの通路が、雨が降ってもぬかるみや水たまりがなくなり、とても歩きやすくなった。  
また、開校から40年経って傷んでしまっていた体育館舞台の演台を、縁取りを取り替え、側面を化粧ベニヤ板で覆いつくし、補修していただいた。大きなシンボルである前田小の校章まで作って取り付けていただき、まるで注文発注して作成した新品の演台のように仕上がりに、創立40周年記念式典で、早速使うことができた。
- 2 米作りボランティア  
5年生の児童は、米作りの体験を通して、日本の農業に対する関心・意欲が高まり、地域の人々との交流を深めることができた。
- 3 「子どもの安全を守り隊」による登下校の見守り活動・児童の安全を守る活動  
登下校中の交通事故、犯罪被害は今年も0件。朝と帰りにあいさつや声をかけていただき、児童と温かい交流ができています。
- 4 図書読み聞かせボランティア  
「読み聞かせが楽しみ」という子供たちの声が多く聞かれ、読書への関心を高められた。
- 5 学校行事への支援  
今年も全児童席にテントが設置していただき、午後からの強い日差しにも左右されず、熱中症になる児童は出なかった。全児童が安心して競技に集中し、運動会が実施できた。

学 校 名	あきる野市立増戸小学校
コーディネーター数	2人
ボランティア数	370人

□ 活動の概要

学童安全ボランティア・地域諸団体との連携を強化して、増戸小学校の教育活動を支援する。

増戸地区の13の自治会長を中心とした学童安全ボランティアと地域諸団体間との交流を促し、コーディネーターを二人体制とし、地域・PTA指導者を発掘し、学校教育の充実に協力していく。

1 安全維持活動及び緊急対応（通年）

学童安全ボランティア組織の更新と連絡体制を維持し、活動の充実を図った。また、9月23日（金）には、学童安全ボランティア顔合わせ会を開催することで、活動の情報交換と交流を深めた。学童安全ボランティアの活動の中心は、不審者対応・交通安全対応・自然災害対応である。活動内容は、日常的警戒アピール活動（危機の未然防止）、期間を区切ったの一斉活動、緊急警戒活動を再度確認した。

（1）交通安全活動

- ・登下校時、自宅前などに立っての見守り活動
- ・腕章をつけて地域巡視
- ・あいさつ活動時の見守りや声かけ



新入生の入学当初の下校の見守り



年3回の防犯連携訓練

（2）防犯活動

- ・自宅前での見守りや声かけ
- ・地域パトロール活動・学校からの緊急連絡を受けて、街角に立って登下校の安全の見守りや声かけ



防災・安心地域委員会と連携した小中合同防災訓練

（3）防災活動

- ・増戸地区防災・安心地域委員会との連携した活動

2 学校行事・学習活動支援（個別）

学校からの要請を受けて教育活動への支援活動が実施された。

今年は教室での授業支援や校庭・学校園への整備活動へと支援の幅が拡大した。

- （1）運動会時水撒き （2）夏季休業日中の図書室開放、読み聞かせ （3）授業補助 地域安全マップ作成、書写、嚙子指導 （4）校内整備 （5）米作りやもちつき大会



読み聞かせ



書写指導



サルスベリの支柱



田植え指導



もちつき大会

□コーディネーターの役割

- ・学校と各地域団体との調整・計画の立案・実施計画、調整・計画の実施

□活動上の工夫や配慮等

- ・名簿更新等を維持することへの配慮と仕組み作り、特に今年は学習活動や校庭整備等の地域の方々のお力をいただくよう配慮した。・保護者ボランティアの方々も参加できる取組を工夫した。

□活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

- ・地域の方々やお母さん方から、教えていただき今までとちがった活動ができた、等。（児童）
- ・地域の方々のボランティアで支えていただいていることに感謝いたします、等。（保護者）

**あきる野市**

学 校 名	あきる野市立多西小学校
コーディネーター数	2人
ボランティア数	200人

□ 活動の概要

◎コーディネーターによる学習支援活動

- 算数・家庭科・読書指導への学習支援
- 家庭科授業への支援
- 始業前の「読み聞かせ活動」
- 遠足や生活科の引率支援
- 運動会への支援
- スポーツテストへの支援
- 保護者ボランティアの募集・配置・運営等



◎その他

- 環境整備（PTA対応）
  - ・学校敷地内にある「水田」のビニールシートの張替え 5月末
  - ・図書の整理（整理番号による図書整理、図書点検等） 3月
- 登下校安全指導（各町内会対応）
  - ・年間を通じた各町内会による約120名のボランティアによる見守り活動

□ コーディネーターの役割

- 算数授業への支援
  - ・3年算数のC層における学習指導（年間）
  - ・4年算数のC層における学習指導（年間）
- 遠足や生活科の引率支援
  - ・1年遠足、2年遠足、5年遠足、6年遠足の引率・児童の安全管理
- 保護者ボランティアの募集・配置・運営等
  - ・保護者ボランティア募集
  - ・3日間のスポーツテストにボランティアを配置
  - ・学校公開（伝統文化理解）で児童への支援等

□ 活動上の工夫や配慮等

- 学力向上への手立てとしてコーディネーターによる学習支援を3・4年の算数で行った。
- 保護者ボランティアの募集・ボランティア名簿作成・ボランティアへの連絡と配置を行ってもらい教育活動が安全に行えるようにした。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

- 算数授業への支援は、C層の児童の学習支援に大きく役立った。
- 家庭科授業への支援に入ってもらったことで、実習を安全に行うことができた。
- 各種の行事にボランティアの協力が得られたことで教育活動が潤った。
- 各町内会のボランティアによる登下校の安全指導は長年、子供たちの交通安全にとっても役立っている。

**あきる野市**

学 校 名	南秋留小学校
コーディネーター数	3人
ボランティア数	80人

□ 活動の概要

1 学習支援事業

- ・漢字検定（6月、10月、1月）  
本校を会場校として実施し、合計138名が参加した。
- ・読書活動（年間を通して、ボランティア20名参加）  
朝の時間（1時間目の前）を活用して、読み聞かせを全ての学年で実施した。

2 環境支援事業

- ・畑と田んぼの栽培活動（年間を通して、全学年児童参加）  
校地に隣接する畑・田んぼにおいて、各学年の栽培活動の準備や片付け、播種及び育苗を実施した。
- ・校内美化活動の（5月、9月 ボランティア50名参加）  
校内の階段や廊下、壁等の塗り替えを実施した。

3 安心・安全事業

- ・児童の登下校の見守り  
（年間を通して、ボランティア10名参加）



□ コーディネーターの役割

1 学習支援事業

- ・漢字検定実施のための準備（ボランティアの手配、掲示物の作成等）、当日の進行管理等
- ・読み聞かせのボランティアの手配、年間を通した分担表の作成等

2 環境支援事業

- ・校内美化活動の材料の準備と計画及び畑・田んぼの管理、担当教員との連絡調整等

3 安心・安全事業

- ・ボランティアとの連絡調整等

□ 活動上の工夫や配慮等

- ・今年度より、従来から学校で進めていた取組である「漢字検定」、「読み聞かせ」、「児童の登下校の見守り」等を学校支援地域本部事業に統合し、「学習支援事業」と「安心・安全事業」を新たに立ち上げた。  
これにより、学校教職員の負担が減少する一方で、地域コーディネーターの確保が課題となったが、支援員の兼務の工夫により解決を図った。

□ 活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

- ・学校支援事業の3つの柱が整ったことで、活動内容が明確になり、地域との連携が図られ、コーディネーターがボランティアを集めやすくなった。今後は、3つの事業を統括的に管理する「統括コーディネーター」の確保が急務である。